

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-106779

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)6月12日

B 66 B 7/06
1/06
11/08

6694-3F
8110-3F
6694-3F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 エレベーターの巻上装置

⑯ 特 願 昭58-210791

⑰ 出 願 昭58(1983)11月11日

⑱ 発 明 者 中 平 等 明 勝田市市毛1070番地 株式会社日立製作所水戸工場内

⑲ 出 願 人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

⑳ 代 理 人 弁理士 高橋 明夫 外3名

BEST AVAILABLE COPY

明 細 書

発明の名称 エレベーターの巻上装置

特許請求の範囲

1. エレベーターの駆動装置と綱車からのロープを所定の位置にガイドするそらせ車を機械台に支持させ、かつ、この機械台を昇降路の側面に形成した機械室に設置した、巻上装置において、

前記機械室の建屋受梁部に防振部材を介して取付る前記機械台に調整ボルトを設けたことを特徴とするエレベーターの巻上装置。

発明の詳細な説明

(発明の利用分野)

本発明はエレベーターの巻上装置に係り、特に、昇降路の側面に設けられる機械室に設置するに好適な巻上装置に関する。

(発明の背景)

従来のエレベーターの巻上機は、第1図に示すように、昇降路1の側面に設けられた機械室8の夫々の受梁9、10、23に防振部材18、19、20を介在して機械台21、22を取付け、この

機械台21、22に電動機11、減速機12、綱車13等からなる駆動装置とロープ4を所定の位置に案内するそらせ車14、15、16、17を組み込み、昇降路頂部7に設けたそらせ車5、6を介して、乗かご2、つり合いおもり3にロープ4を張り連結するものであるが、この組立て工程において、ロープ張り作業は最終工程となるため、機械台21、22の建屋受梁9、10、23への防振部材18、19、20を介して固定すると電動機11、減速機12、綱車13等からなる駆動装置の重量および機械台21、22の自重により、第1図のようなレイアウトでは、防振部材18には引張り荷重が、防振部材19にはせん断荷重がそれぞれかかり防振部材が損傷や変形をおこす恐れがある。また、これを防止するために、機械台22と機械室8の床面に設けた空間24に介在物を挿入して、機械台を支持することが考えられるが、芯出し作業が困難で据付工事に手間がかかる。

(発明の目的)

本発明の目的は、据付工事作業が容易にできる

特開昭60-106779(2)

エレベーターの巻上装置を提供することにある。

〔発明の概要〕

本発明の要点は、建屋受梁、床等に近接する機械台に調整ボルトを設け、機械台を支持させるにある。

〔発明の実施例〕

本発明の一実施例を第1図ないし第3図により説明する。巻上装置の機械台21、22の端部29、30、31の夫々に、プレート32を取付け、防振部材18、19、20を取付ける孔32、33を逃げて、ネジ孔25、26を設ける。このようにした機械台を機械室8の受梁部9、10、2-3に防振部材18、19、20を介在させて固定する一方、調整ボルト27、28をネジ孔25、26に挿入して各部に配設した防振部材に荷重がかからないように調整ネジ27、28で、機械台端部と受梁及び床面に機械台を支持させる。次に、電動機11、減速機12、綱車13等からなる駆動装置とそらせ車14、15、16、17等を機械台に取付ける。据付工事が進行、ロープ張り作

業が完了した時点で、調整ネジ27、28をゆるめ、機械台にかかる荷重が防振部材にかかるようにする。空間24に配設した調整ボルトをゆるめ、床面に当接しないようにする。本発明の実施例によれば、防振部材を損傷することや変形をおこすことなく、据付工事が容易にできる。また、エレベーターの保守点検時にも、調整ボルトで機械台を保持することができる。

本発明の実施例では、機械台端部の全ての部分に、調整ボルトを挿入できるネジ穴を設けたが、建屋レイアウトによつては、調整ボルトを挿入する必要のない場合があるが、あらかじめ、全ての部分にネジ孔を設けることにより、いろいろな建屋レイアウトに対応でき、機械台の標準化をはかることができる。

従つて、本発明の実施例で、重要なのは、空間24の部分であり、この部分にのみ調整ボルトを設けるようにしたものも、前述と同様の効果がある。

〔発明の効果〕

本発明によれば、据付工事における芯出し作業が容易になる。

図面の簡単な説明

第1図はエレベーターの全体の側面図、第2図は本発明の一実施例の機械台の局部平面図、第3図は第2図の側面図である。

8…機械室、18、19、20…防振部材、27、28…調整ボルト。

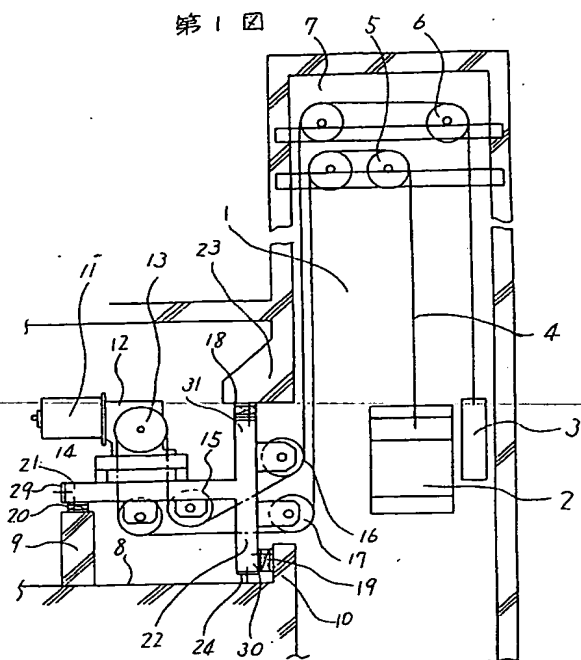
代理人 弁理士 高橋明夫



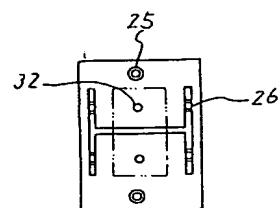
BEST AVAILABLE COPY

特開昭 60-106779 (3)

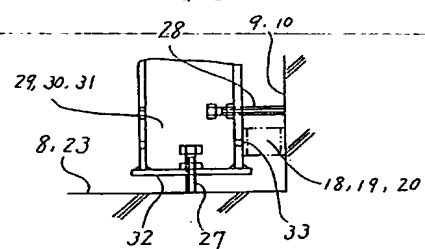
第 1 図



第 2 図



第 3 図



BEST AVAILABLE COPY